

平成27年(2015年)6月30日
建設委員会資料
都市政策推進室グローバル戦略推進担当

中野区におけるグローバル戦略の検討状況について

中野区におけるグローバル戦略については、先般発足した中野区グローバル戦略推進協議会における協議事項として、策定に向けた検討を進めているところである。現在の検討状況について報告する。

1. グローバル戦略策定の趣旨

グローバル経済を軸とした東京や日本における国際競争力の強化が図られる中、今後の都市再生の取組みを見据え、中野区におけるグローバルな都市活動拠点の形成に向けた、持続可能な都市の成長モデルを描いていくことが求められている。

国家戦略特別区域の指定によるビジネスチャンスの拡大、2020年東京オリンピック・パラリンピックの開催を契機としたインバウンドの増加など、あらゆる機会を捉え、中野の立地特性や集積する産業・文化等の強みを最大限に生かし、活力あるグローバルな都市づくりを進めるための戦略を策定する。

2. 検討事項と主な論点

(1) 現状分析と方向性

中野は、交通利便性の高さや主要な拠点へのアクセスの良さ、都心と多摩をつなぐ立地特性に加え、コンパクトに集積した都市機能、そこから発信される多様な文化などを強みとしており、都市間の中継点となるハブとしての役割を果たしている。

活力あるグローバルな都市づくりにあたって、こうした中野の強み、ポテンシャルを最大限に引き出していくことが重要である。世界の都市、地方の都市から、人・文化・産業・情報などの多様な資源を集積させ、有機的な交流によって新たな価値を生み出し、競争力を持つ財・サービスとして発信していく、ハブ機能の強化が求められるところである。

現在の状況を定量的、定性的にとらえるとともに、今後の都市構造の変化や他の都市との関係性を踏まえながら、目指すべき方向性を定めていく。

(2) 2040年(25年後)の目標と都市イメージ

50年後(2065年)にも選ばれる都市を目指していくため、25年後(2040年)にグローバルビジネス拠点として認知されている姿や、新たな文化・価値を創出し続けるクリエイティブな都市の姿、だれもが住み続けたいと思う高質な職住近接都市の姿を描いていく。

<数値目標例>

- 業務・商業空間等の拡大によって、昼間人口を5万人増加
- 毎週1万人規模の催事によって、来街者を50万人増加
- 高質な生活空間の整備によって、夜間人口30万人を維持

(3) グローバル都市づくりの方向性

論点1. 都市再生を軸としたグローバルビジネス拠点の形成

- 中野駅周辺の都市再生や西武新宿線の連続立体交差化、各地区のまちづくりなど都市構造の大きな転換期を踏まえ、グローバルの視野で取り組む都市づくりのあり方
- 中野の立地、産業基盤、文化などの強みを活かした差別化や、国内外からの投資を呼び込み競争力を確保していくためのグローバルビジネス拠点整備の考え方
- 既存の産業振興とともに新たな産業を生み出し、海外に発信していくための産学公連携プラットフォームの取り組み方策 など

論点2. ホール・コンベンションや商業空間の連携によるMICE展開

- ホール・コンベンションや商業施設・商店街、道路・公園などの公共空間の活用と連携を図り、まち全体で取り組むMICE展開の基本的な考え方
- 中野の活力の源泉となっている多様なイベントの発信力強化や、世界的なイベント・国際会議等の誘致、滞在空間の確保、空港からのアクセス強化など、集客力と収益性を高めていくための方策
- MICE関連産業の振興や雇用創出、タウンマネジメント、人材育成などMICE展開にあたって必要となる取り組み方策 など

論点3. 安全・安心で高質な生活環境の整備

- 2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けた、滞在空間や生活空間におけるグローバル化対応
- 日本的な文化や伝統の保持、安心・安全な生活環境の向上とともに、コンパクトな都市機能や利便性を強みとした、職住近接につながるまちづくりの考え方
- 医療、教育、生活などのサポートの充実と、だれにも暮らしやすいコミュニティづくりのあり方 など

(4) グローバル展開の具体的方策

都市づくりの方向性に基づき、具体の戦略や計画を検討する。また、国家戦略特別区域における規制緩和提案や事業展開を検討する。

3. 検討体制

中野区グローバル戦略推進協議会では、中野区におけるグローバルビジネス環境の整備・拡充、国家戦略特別区域を活用した規制改革等に関する協議を行うものとしており、幹事会を中心にグローバル戦略の検討を行っていく。

構成員：「別紙1」構成員一覧参照

幹事会構成団体：「別紙2」幹事会名簿参照

4. 今後の予定

平成27年	7月	第2回幹事会	グローバル戦略の検討
	9月	第3回幹事会	グローバル戦略（素案）の検討
	11月	第4回幹事会	グローバル戦略（案）の検討
平成28年	1月	第5回幹事会	グローバル戦略に基づく取組みの検討
	2月	グローバル戦略をテーマとしたフォーラムの開催	

中野区グローバル戦略推進協議会構成員一覧

平成27年6月22日現在

(※基幹団体以外は法人格を除く 50 音順)

基幹団体	中野区	株式会社日本政策金融公庫 新宿支店
(5)	東京商工会議所中野支部	野村不動産株式会社
	中野工業産業協会	東日本電信電話株式会社 東京北支店
	中野区商店街連合会	(有)BIS デザイン研究所一級建築士事務所
	一般社団法人中野区産業振興推進機構	株式会社みずほ銀行 中野支店
		株式会社三井住友銀行 中野杉並エリア
賛同団体	EASTWEST 日本語学校	三井住友信託銀行 中野支店
(44)	エヌ・ティ・ティ都市開発株式会社	三菱地所株式会社
	株式会社オフィスエルアール	三菱地所レジデンス株式会社
	鹿島建設株式会社	明治大学
	関東バス株式会社	UR都市機構 東日本都市再生本部
	キリン株式会社	リエゾン・デートル
	株式会社構造計画研究所	りそな銀行
	こども教育宝仙大学	
	株式会社コングレ	
	金剛産業株式会社	
	清水建設株式会社	
	一般社団法人社会資源再生機構	
	株式会社スペース	
	住友不動産株式会社	
	西武信用金庫	
	大成建設株式会社	
	帝京平成大学	
	デジタルハリウッド大学 産学官連携センター	
	東映アニメーション (株)	
	株式会社東京アスレティッククラブ	
	東京ガス株式会社 中央支店	
	東京工芸大学	
	東京建物株式会社	
	東京電力株式会社 荻窪支社	
	東京都市サービス株式会社	
	東京都民銀行 中野支店	
	株式会社ドーム	
	中野区国際交流協会	
	中野経済新聞	
	中野コミュニケーションデザイン	
	西松建設株式会社	

別紙2

中野区グローバル戦略推進協議会幹事会名簿

No.	団体名	役職名	氏名
1	中野区	区長	田中 大輔
2	東京商工会議所中野支部	会長	麻沼 雅海
3	中野工業産業協会	会長	溝口 秀二
4	中野区商店街連合会	会長	高橋 宏治
5	一般社団法人中野区産業振興推進機構	理事長	板生 清
6	麒麟株式会社	人事総務部 総務担当主査	井上 清
7	株式会社コングレ	常務取締役	吉岡 純二
8	西武信用金庫	理事長	落合 寛司
9	帝京平成大学	事務長代行	小松 寿弘
10	株式会社ドーム	執行役員 社長室長	三沢 英生
11	東日本電信電話株式会社 東京北支店	理事 東京北支店長	神谷 直応
12	株式会社みずほ銀行 中野支店	支店長	山下 泰
13	明治大学	中野キャンパス事務長	福岡 英朗

※基幹団体以外は50音順（法人格を除く）